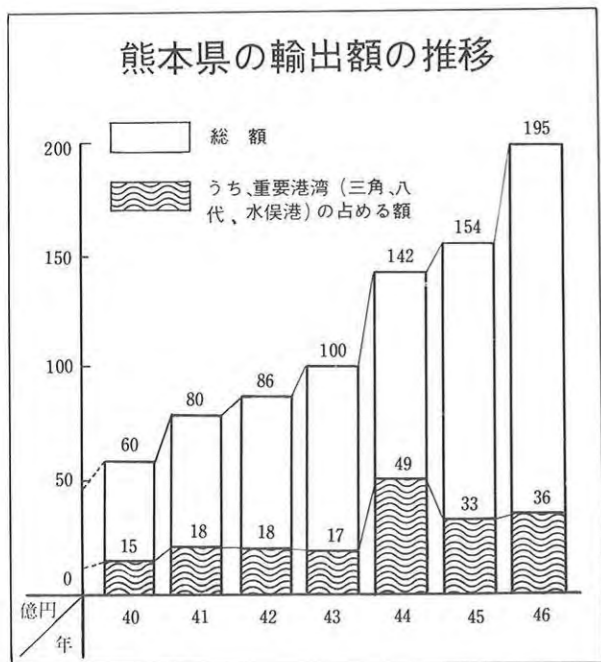
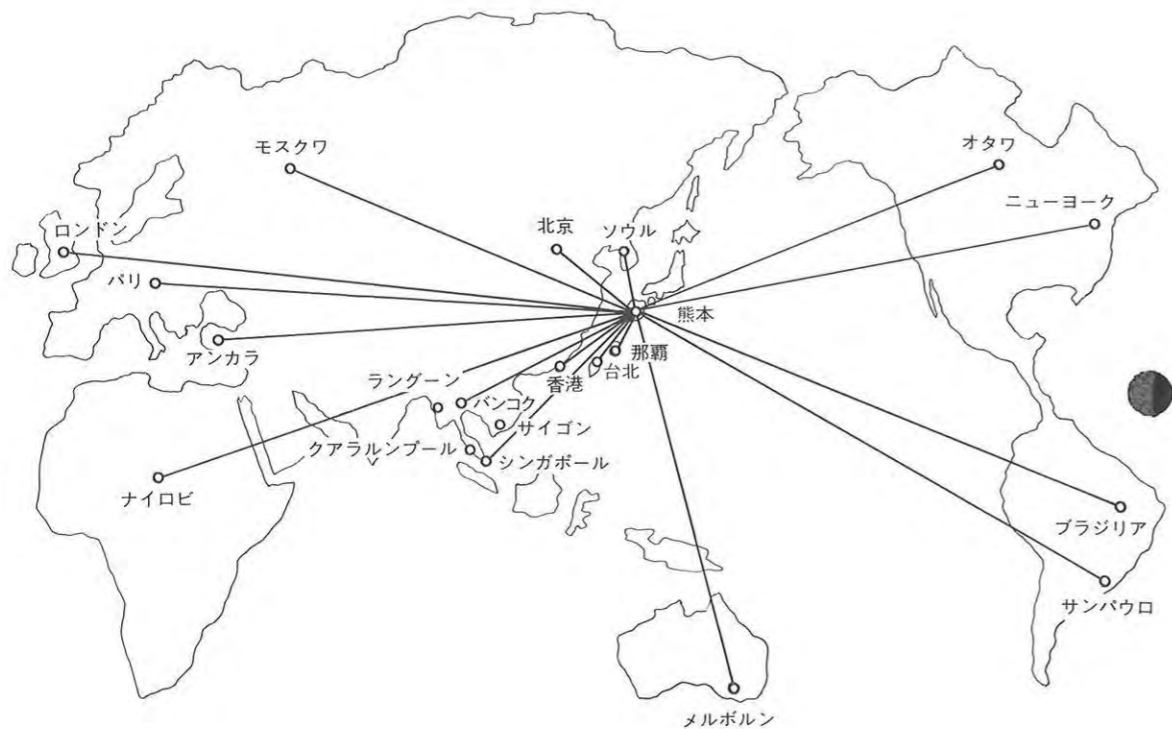


熊本県の外国貿易



春の花壇お目見え 美しい熊本づくり シンボルゾーン



熊本駅から健軍までの電車通り(十二続)にイチヨウを主とした街路樹を植え、その下に花壇をつくり、熊本を代表するような並木道にしようというシンボルゾーン作戦が昨年(昭和45年)から三ヶ年計画で始まり、三月初めから、これまでの「葉ぼたん」を「三色すみれ」と「ひな菊」に植えかえる作業が行なわれ、かれんな春の花壇がお目見えしました。

このほか、シンボルゾーンを拡充する意味から、ことしは県道熊本(高森線、大津バイパス、熊本停車場線の美化も始めます。また、空港周辺の緑地造成やおよそ二百五十の花の銀行の設置、郷土の清掃浄化などにも力を入れていくことにしています。

ところで、花の命は水をやることで大きく違ってきます。県でもできるだけの手入れをしますが、十分手のとどかない面もあるかと思いますので、皆さんの積極的な協力をお願いします。なお、日中の灌水は花が疲れますので、灌水される場合はなるべく夕方お願いします。

▲早くも花を咲かせたパンジー

▶植えかえ作業(写真はいずれも熊本市の水道町で)

